

学校だより みんなの森合小

～自分でチャレンジ みんなとチャレンジ 最後まで～

NO. 4

令和3年4月30日

発行者

森合小学校長 渡邊かほる

待ちに待った 大型連休

子どもの心の声に じっくり 耳を傾けて

～張り切ってきた子どもたちの心と体に疲れが出る頃です～



ゴールデンウィークになりました。大型連休で、嬉しいところですが、目に見えない「疲れ」が出てくる頃でもあります。新しい学校・学年になり、新たな気持ちで張り切って学校生活を送ってきた子どもたちは新しい環境で、気を遣ったり、遠慮したりといつも以上に、頭をフル回転させている時間が長くなっていることが考えられます。ここで、リフレッシュが必要です。学校では、子どもたちの話を聴くことを大切にしています。お家でも、「子どもの心の声」に耳を傾けていただければ幸いです。

<聴き方のポイント>

- 1 話を最後まで聞く・・・話し終わらないうちに途中で口を挟んだり、意見を言ったりしない。
- 2 子どもの言葉を待つ・・・せかしたりせずに、言葉が出てくるまでゆっくりと待っている。
- 3 子どもの視線に合わせて聴く（心で聴く）・・・ほんの少しでも手を休めて、聴く。
- 4 あいづちを打つ・・・「そう」「なるほど」「そうだったの」「辛かったね」とあいづちを打つ。
- 5 話が広がる質問をする・・・「どうして？」など「イエス」「ノー」で答えられない質問をする。
- 6 子どもとの話を楽しむ・・・聴き役に徹しながらも、同時に楽しもうという気持ちを持って聴く。
- 7 子どもの考えをまとめる援助をする・・・「～と思っているのかな？」など推測し考えを引き出す。
- 8 伝えたいことがあれば、意見も伝える・・・最後まで聴いて「こう思うよ」と押しつけずに伝える。



※ 話を聴く中で、「おかしいなあ」「面白いなあ」など感じたことがありましたら、ぜひ、お知らせください。

※ 子どもの話は、楽しいです。「よく考えているなあ」「気づいているなあ」と感動してしまいます。

み一つけた！ みんなの森合小

うれしい電話 Part 2 ～自ら行動～

学校に近所の方から電話がありました。「JR社宅と森合運動公園の間の草取りや清掃をしていたところ、上学年の子が空き缶を見つけて届けてくれました。『ありがとう』と伝えましたが、学校でも紹介していただけると嬉しいと思い連絡しました。」という内容でした。自ら進んで行動できることは素晴らしいです。電話をくださった方にも感謝いたします。

自分を表現！ 素直で伸び伸び

～子どもスタジアムオープニングイベント～

森合運動公園でのイベントに招待され、あるクラスが代表として参加しました。市長さんの話を聞いたり、インタビューに答えたり、物怖じせず、楽しんで参加する姿と素直に伸び伸びと表現する姿に頼もしさを感じました。



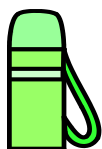
お願い

感染予防への更なるご理解とご協力を ～変異ウイルスによる感染拡大～

全国・福島県内の学校や児童施設などでクラスターが発生しています。子どもは比較的に関安全と言われてきましたが、その傾向は変わってきています。感染予防策について、その都度見直ししながら進めて参ります。

<連休中> ○不要不急の外出自粛・検温の継続・マスクの着用 など

<連休明け> ○水筒持参について



- ・水道の密を避けることと、マスク着用等による熱中症対策のため水筒持参が可能です。
- ・「水」「麦茶」を基本とします。
- ・水道の水でも対応できますので、水筒を持参するかしないかも含めて、お子様と話し合っ、判断してください。
- ・友達と同じではなく、「自分で考えること」を大切にいただければ幸いです。

※ 裏面に「職員紹介 part 1」を掲載しております。ご覧ください。